

第5回 淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会 議事骨子

平成26年1月10日

開催日時：平成26年1月10日（金）13:00～15:30

開催場所：大阪合同庁舎第1号館 新館3階 A会議室

第5回淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会を開催した。審議内容及び審議結果は次のとおり。

1. 審議内容及び審議結果

1) 説明内容

事務局から以下の内容を説明した。

- ・ 本委員会は当初全5回の予定としていたが、大阪市における設計業務契約の遅れ等により、引き続き第6回委員会を開催することを説明した。
- ・ 資料5-1～資料5-5に基づき、耐浸透機能、経年変化（圧密沈下）に対する全線の定量的評価、維持管理手法及びモニタリング計画、一体構造物の施工方法等について説明した。
- ・ 資料5-6に基づき、今後の委員会スケジュールについて説明した。

2) 審議内容及び結果

- ・ 耐浸透機能、経年変化（圧密沈下）について全線の定量的評価を行った。
- ・ 耐浸透機能については、横断方向のパイピング破壊、すべり破壊の可能性は低いと評価した。一方、縦断方向の水みちの発生の可能性は低いと考えられるが、局所的な動水勾配について定量的に評価する方針とした。
- ・ 経年変化（圧密沈下）については、二次元弾粘塑性解析における検討条件、計算結果等の妥当性などを検証した。
- ・ 道路継手部付近において存置を検討している土留矢板の取扱いについては、矢板を存置する場合と引き抜く場合のメリット、デメリットの検討結果を踏まえて、今後の方針を決めることとする。
- ・ 維持管理・モニタリングについては、設計論を踏まえ観測して把握できるものと、把握できないものの整理を含めて検討を進めることとする。

3) 今後の委員会スケジュールについて

- ・ 第6回の委員会では、施工時の確保機能の検討、一体構造物の施工方法、委員会のとりまとめ（一体構造物や仮設構造物の要求性能の検討結果）等について議題とする。
- ・ 次回委員会は、平成26年度上半期の開催を目指して検討を進め、第6回委員会をもって本委員会をとりまとめる。

以上